

甲第D62号証

平成25年台風第30号

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

平成25年台風第30号(へいせい25ねんたいふうだい30ごう、アジア名 *Haiyan*、命名国: 中国、意味: うみつばめ(海燕)^[2]、フィリピン名 *Yolanda*^[1])は、2013年11月4日午前9時(協定世界時11月4日0時)、トラック諸島近海の北緯6度05分、東経152度10分で発生した台風である^[3]^[4]。台風の発生数が年間30個を越えたのは1994年以来19年振り^[5]。

フィリピン中部を横断し、平成3年台風第25号(en:Tropical Storm Thelma)に次ぐ大きな被害を出した。

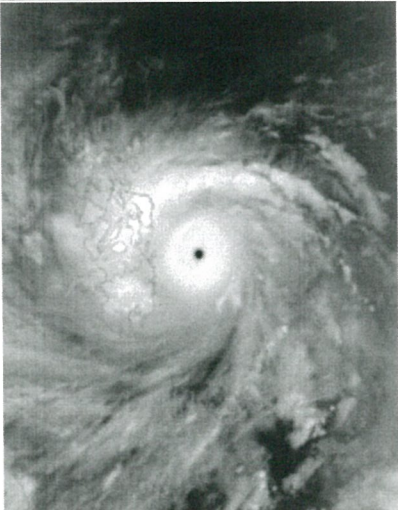
目次

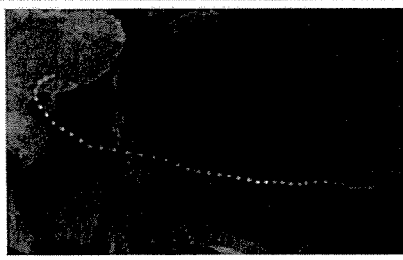
- 1 経過
- 2 影響・被害
 - 2.1 パラオ
 - 2.2 フィリピン
 - 2.3 ベトナム
 - 2.4 中華人民共和国
 - 2.5 台湾
- 3 各国政府・民間団体等による主な支援一覧
 - 3.1 赤十字
 - 3.2 世界食糧計画
 - 3.3 日本
 - 3.3.1 サンカイ作戦
 - 3.4 アメリカ合衆国
 - 3.4.1 オペレーション・ダマヤン
 - 3.5 イギリス
 - 3.6 ロシア
 - 3.7 ドイツ
 - 3.8 台湾
 - 3.9 オーストラリア
 - 3.10 欧州委員会
 - 3.11 韓国
 - 3.12 中国
 - 3.13 民間、団体、個人
- 4 その他
- 5 脚注

経過

本台風の当初の中心気圧は1002ヘクトパスカルであったが^[3]、太平洋上を西に進みながら11月5日から6日にかけての24時間で中心気圧は40ヘクトパスカル低下^[4]、中心付近の風速45メートルに達するなど急速に成長し、規模は小さいながら「非常に強い台風」となって6日にはカロリン諸島を通過^[6]、7日にはパラオを経由してフィリピンに向かって接近し^[7]、フィリピン大気地球物理天文局(PAGASA)の管轄する領域に入ったためフィリピン名ヨランダ(*Yolanda*)と命名された^[8]^[9]。

11月5日夜から6日夜にかけての24時間で中心気圧が65ヘクトパスカル低下して905ヘクトパスカルに達し

台風第30号 (Haiyan、ハイエン <Yolanda、ヨランダ>^[1])	
カテゴリ-5の スーパー・タイフーン (SSHS)	
	
NASAによる衛星画像(11月8日午前3時)	
発生期間	2013年11月4日9:00 - 11月11日21:00 (JST)
寿命	7日12時間
最低気圧	895hpa
最大風速 (日気象庁解析)	65m/s(125kt)
最大風速 (米海軍解析)	170kt
平均速度	31.8km/時 763km/日
移動距離	5,727km
被害地域	パラオ フィリピン ベトナム 中国
プロジェクト:気象と気候／プロジェクト:災害	



進路図

^[4]、6日21時には中心付近の風速60メートル、最大瞬間風速85メートルの「猛烈な台風」となってフィリピン海を西北西に進んでミンダナオ島に接近^[10]。7日21時、更に中心気圧が下がって895ヘクトパスカルに達し、中心付近の風速65メートル、最大瞬間風

速90メートルと観測史上例をみない勢力となった^{[11][12]}。台風は現地時間8日午前4時40分(日本時間5時40分)頃にフィリピン中部のサマル島に上陸^[13]。サマル島からレイテ島、パナイ島とフィリピン中部ヴィサヤ諸島を横断して南シナ海へ抜ける進路を取った^[14]。なお、8日朝の時点での勢力について合同台風警報センターは最大風速87.5メートル、最大瞬間風速105メートルとしている^[13]。

台風は8日夕方までに若干勢力を弱めながらも「猛烈な台風」の規模を維持したままスルー海に達し^[15]、南シナ海を西に進んで10日にはベトナム中部に接近すると見られていたが^[16]、進路を北西に変えながら10日18時の時点でトンキン湾を経由して^[17]、現地時間11日午前5時にベトナム北部・クアンニン省に上陸したのち^[18]、中国・華南地方の広西チワン族自治区に達した^[19]。

影響・被害

パラオ

死者こそ無かったが、7日早朝に至近を通過した台風の強風と高潮によって旧首都のコロールやバベルダオブ島で多くの建物と電力網・水道が被害を受けた^{[20][21]}。また、カヤンゲル島では住居・公共施設を含むほとんどの建物が全壊^{[22][23]}。これらの被害に伴い、8日には全土に非常事態宣言が発令された^[22]。

フィリピン

2013年11月8日早朝にフィリピン中部に上陸したが、従来の台風のように上陸後に勢力は殆ど弱まらずおよそ900ヘクトパスカルの勢力を約一日半維持し、その間フィリピン中部の島々は60m/s以上の竜巻に匹敵するような強風と台風による局地的な低圧部による高潮に長時間襲われ、さらに湾の最奥部に位置する地形的要因や台風の進行方向右側の危険半円に位置した位置的要因、避難がしにくい早朝時という時間的要因などの理由によってレイテ島のタクロバンを中心に甚大に被害を引き起こした^[25]。また、高潮を意味する現地語がなく、事前情報としてメディアや防災関係者はほとんどの現地住民が意味の分からなかった英語の「ストーム・サージ」をそのまま使って警告したため、不十分な避難情報と言葉の壁や住民の災害に関する意識の低さが被害を拡大させたとの情報もある^[26]。

11月10日、レイテ州の警察は台風の進路にあった住宅や構造物の約70～80%が破壊され、死者が1万人に達するとの推定を発表^{[27][28]}。また、レイテ島西部のオルモックでも建物の90パーセントが全半壊するなどの被害が出た^{[29][30]}。被災地を訪れた国連関係者は、2004年スマトラ島沖地震以来の被害と述べた^[31]。

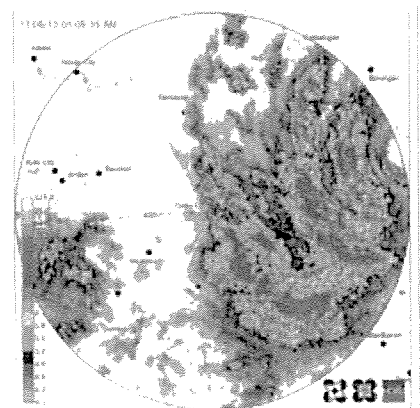
11月11日、フィリピン政府は、総人口の1割に当たる約967万人が被災したと発表^[32]。タクロバンでは食料や金銭の略奪が発生したことから^[33]、ベニグノ・アキノ大統領は、非常事態宣言を発令した^[34]。高潮の被害を受けたタクロバン空港は同日に小型機限定で運用を再開したが^[35]、避難を求める地元住民が殺到す

映像外部リンク

サマル島を襲う高潮(気象津波)

(<http://www.youtube.com/watch?v=rS0gv4Xbw7w>)

YouTube:NGO団体「Plan」による撮影(2013年11月8日)



PAGASAによる上陸時の気象レーダー映像。タクロバンを直撃する様子が捉えられている。

るなど混乱した^{[36][37]}。

11月12日、レイテ島における被災者による略奪などで急速に治安が悪くなっていることを受けて、ロハス内務相はタクロバンに夜間外出禁止令を発令、軍の装甲車両を派遣して略奪や強盗を最大限抑え込み、治安回復を図って救援を加速させる方針を発表した^[38]。また、刑務所の壁が壊れるなどしたため、フィリピン全体で181人の受刑者が刑務所から脱走。11月17日までに、フィリピンの警察は45人を拘束した^[39]。

その後レイテ島では、食料や水の不足に加え治安の悪化から、島外に脱出しようとする市民が急増^[40]。フィリピン海軍は、被災者のうち、希望する者を輸送艦でセブ島など比較的安全な地域に運んでいる。しかし、フィリピン海軍の艦艇には、大規模な輸送に使える艦は少なく、被災者の輸送は進んでいない^[41]。

なお、死者数についてアキノ大統領は11月12日のCNNのインタビューで2,000~2,500人になるとの見方を示し、警察発表の死者1万人との推定を修正したが^[42]、国連人道問題調整室はフィリピン政府の報告として、13日時点で4,460人と発表^[43]。一方、フィリピン国家災害対策本部は死者数を3,631人と発表するなど、情報は混乱^[44]。フィリピン国家災害リスク削減委員会(NDRRMC)によるその後の集計では11月22日時点で死者5,000人を突破し^[45]、台風襲来から2ヶ月余が経過した2014年1月14日までの集計で死者6,201人、負傷者28,626人、行方不明者1,785人、被災者数1,600万人以上^[24]。家屋114万戸余が倒壊などの被害を受け、インフラや農業・漁業などへの被害総額は366億ペソ以上(約854億円)に達した^[24]。

ヨランダ上陸直後の11月12日にはゾライダが上陸、翌年1月には台風1号により被災し、再建途上のフィリピンは更なる打撃を受けた。



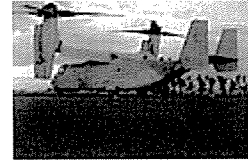
タクロバン市街(11月14日)



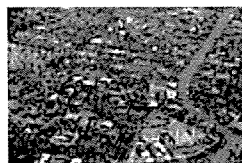
避難を求めてタクロバン基地に集まった住民(11月14日)



アメリカ兵から水を受け取る住民(11月16日)



MV-22B オスプレイに搭乗する避難民(11月16日)



空から見たタクロバン市街(11月24日)

ベトナム

ベトナム中央暴風洪水管理委員会(CCFSC)によると台風に関連して10日までに6名が死亡^[46]。13の省と市の住民858,579人・231,822世帯について避難が計画された^[46]。また、クアンガイ省では土曜夜までに128,000人の避難を行った^[46]。

中華人民共和国

中華人民共和国水利部は台風の接近に備えて4段階のうち上から2番目に高い警報を発令した^[47]。

海南省の海南島で落下した壁や看板に当たった歩行者3名が死亡し、貨物船の乗員7名が波にさらわれ2名が遺体で発見された^[48]。また広西チワン族自治区でも1人が水死した^[48]。

台湾

台風による高波の影響でカキ養殖の筏が多数流され、台南市などで4~5億元(約13~17億円)の損害が出た^[49]。

各国政府・民間団体等による主な支援一覧

2013年11月21日現在判明分 特段記述がないものはフィリピンに対する支援

支援装備 2013年11月21日現在

国名	装備
 アメリカ合衆国	海軍:空母ジョージ・ワシントン、揚陸艦アシュランド、揚陸艦ジャーマンタウン、病院船マーシー、巡洋艦カウペンス、巡洋艦アンティータム、駆逐艦マスティン、駆逐艦ラッセン、補給艦チャールズ・ドリユー、給油艦ユーコン、測量(海洋調査)艦ボーディッチ、潜水艦母艦エモリーランド、P-3C対潜哨戒機x3 海兵隊:KC-130給油輸送機x3 ^[50] 、MV-22Bオスプレイx14 ^[51]  アメリカ空軍:C-130輸送機複数機 ^[52]
 日本	 航空自衛隊:KC-767給油輸送機x2、C-130H輸送機x7、U-4多用途支援機x1  海上自衛隊:ヘリ護衛艦いせ、輸送艦おおすみ、補給艦とわだ、SH-60K ^[53]  陸上自衛隊:CH-47輸送ヘリ、UH-1多用途ヘリ各3機 ^[54]
 イギリス	 イギリス海軍:ヘリ空母イラストリアス、駆逐艦D32デアリング  イギリス空軍:C-17輸送機 ^[55]
 中国	 中国人民解放軍海軍:病院船岱山島(和平方舟(Peace Ark))、揚陸艦崑崙山 ^[56]
 カナダ	 カナダ空軍:CC-177輸送機、CC-150輸送機 ^[57] 、CH-146輸送ヘリx3 ^[58]
 オーストラリア	 オーストラリア空軍:C-17A輸送機、C-130J輸送機 ^[59]
 台湾	空軍:C-130輸送機x2
 韓国	空軍:C-130輸送機orCASA CN-235x2

赤十字

フィリピン赤十字は支援金受け付けのための特設サイトを開設。国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)や各国の赤十字も、サイトを通じて支援金を募っている^[1]。

世界食糧計画

セブ国際空港を拠点に、タクロバンへの食料、および物流、通信支援物資の空輸を開始。ドバイから44トンの高栄養ビスケットを空輸、さらに高栄養ビスケットや米などを追加で購入する資金200万USドルを緊急拠出^[60]。

日本

11月10日、安倍晋三内閣総理大臣はベニグノ・アキノ大統領に対しお見舞いメッセージを送るとともに^[61]^[62]、どのような支援が具体的に必要かを把握するため、外務省と国際協力機構(JICA)の職員1人ずつによる調査チームを現地に派遣し^[63]、11日には国際緊急援助隊の医療チームを現地に派遣した^[64]。

11月12日には日本政府として1,000万ドル(約10億円)の緊急無償資金協力を決定^[65]。13日、内閣情報調査室は情報収集衛星の画像情報、公開情報等を集約した情報を基に作成したレイテ島の中心都市タクロバンから南約20キロ、東西約15キロの台風被害の被災状況推定地図のNGOなどの活動支援のため一般提供を開始した^[66]。

11月15日に外務省は追加的支援として、2,000万ドルの緊急無償資金協力を実施することを決定し、12日に発表済の1,000万ドルの支援と合わせ、計3,000万ドル(約30億円)の緊急無償資金協力を実施すると発表し、支援総額は約5210万ドル(約52.1億円)となると発表し^[67]、また、同日フィリピン在住の日本人複数名と連絡が取れていないため、職員をマニラに派遣した^[68]。同日、同じ台風30号による被害を受けたパラオ政府からの要請に基づき、国際協力機構(JICA)を通じて発電機やスリーピングパッドなど、200万円相当の緊急援助物資の供与を実施している^[69]。

サンカイ作戦

11月12日、防衛省はフィリピン政府の要請により、外務大臣からの自衛隊の部隊などによる国際緊急援助活動へ協力を求める協議をうけて、12日夜に自衛隊員2名が先遣調整係として派遣、13日にはフィリピン国際緊急援助隊として合計50名の派遣を決定し、物資輸送のための航空自衛隊の輸送機KC-767、C-130H各1機も空輸隊50名として近く派遣する方針を決定した^[70]^[71]。

13日午後、小野寺五典防衛大臣はフィリピン政府との調整が必要で決定はしていないが国際緊急援助隊として過去最大規模の自衛隊派遣となる1,000人規模で準備をさせていると表明。防衛省によると、当初、沖縄周辺海域で米軍と離島防衛訓練への参加予定していた海上自衛隊の輸送艦「おおすみ」を演習から離脱させたほか、大型護衛艦「いせ」や補給艦「とわだ」、CH-47輸送ヘリ3機などを派遣に備え待機させているとした^[72]^[73]。

15日、防衛省は国際緊急援助活動の実施に関する自衛隊行動命令の一部を変更する行動命令を発出、派遣部隊を、防衛大臣直轄のフィリピン現地運用調整所と、自衛艦隊司令官の隷下に置かれるフィリピン国際緊急援助統合任務部隊の2部隊に再編成し、派遣部隊の定員を約50名から約1,180名に増員し、主要装備について、KC-767空中給油・輸送機2機、C-130H輸送機7機、U-4多用途支援機1機、CH-47輸送ヘリコプター及びUH-1多用途ヘリコプター各3機、輸送艦、護衛艦及び補給艦の計3隻を派遣し、医療活動等に加えて、防疫活動及び現地における救援物資等輸送を新たに任務にするとした^[74]。因み2011年に就役した「いせ」は今回、初の海外派遣となった。後日、一連の台風30号のフィリピンに対する国際援助活動について「サンカイ作戦」(サンカイ=ワライ語で友達)と呼ぶことを決定^[75]。

12月13日に防衛省は同作戦の終結命令を発出。^[76]同月18日まで物資空輸を実施し、期間中の活動実績として医療行為として2,646名を診察、11,924名をワクチン接種、95,600平米の防疫作業を実施。また、輸送任務として2,768名の被災者、2,900名の兵員やボランティアなどを輸送。さらに632.54tの物資を輸送し、同月20日をめでに撤収した。^[77]

アメリカ合衆国

バラク・オバマ大統領は「既に多くの人道支援を行なっているが、さらなる支援を行う用意がある」と表明し政府として2,000万ドルの拠出を決定。

オペレーション・ダマヤン

アメリカ政府はフィリピン政府と災害時の救援協定を結んでいたため、11月10日にはまず、沖縄・普天間飛行場から90名の海兵隊部隊と支援物資を搭載した2機のKC-130を派遣、追って1機のKC-130と4機のMV-22Bオスプレイも派遣され、現地で活動に入った^{[78][79][80]}。16日までには合計14機のオスプレイが投入され、クラーク空軍基地を拠点にして離島や離村部などへの救援物資の配布に従事している^[81]。

11日に国防総省のチャック・ヘーゲル長官は香港寄港中の空母ジョージ・ワシントンを中心とした機動部隊にフィリピンに急行し救援活動の支援を命じた^[82]。

12日海軍当局者は長崎県の佐世保基地を母港とする揚陸艦ジャーマンタウンとアシュランドの増派を決めた述べている。^[83] アメリカ政府は今回の台風30号によるフィリピンの災害救援活動を東日本大震災規模での対応を行う方針を明言し^[84]、アメリカ軍と政府は今回の活動を「ダマヤン作戦(Operation Damayan)」(ダマヤン=タガログ語で相互)と呼ぶことを決定した^[85]。

13日フィリピンの現地米軍支援救難部隊のトップは現地拠点となっているタクロバン空港に夜間から照明や航空支援機器を設置し、24時間運用可能にして、道路や通信のインフラを整備して14日中に到着予定の空母機動部隊と協力して救難支援活動を本格的に開始すると述べている^{[86][87]}。更に増派として普天間基地からオスプレイ4機を追加^[88]、米海軍の保有するサンディエゴ母港の病院船「マーシー」を12月にはフィリピンに展開させ活動させる計画^[89]であったが11月末になり、他艦の現地活動により、当初予想より救援より復旧が必要と判断され、病院船の派遣は中止となっている。

14日に空母機動部隊はフィリピンに到着し活動を開始し、今回の活動はヘリコプター運用が中心となることから空母は固定翼艦載機(戦闘機、攻撃機など)の多くは厚木飛行場へ帰還させて機動部隊の他艦のヘリを含めた21機を中心に運用するとした^[90]。同日、米空軍は横田飛行場から1機のC-130Hをグアム・アンダーセン基地を經由して救援物資搭載後、フィリピンの被災地域へ向け出発したと発表。^[91]

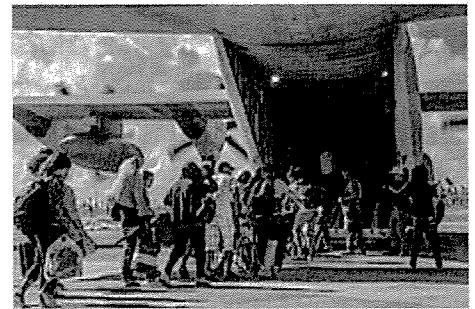
22日には佐世保基地を出港後、沖縄ホワイト・ビーチで物資補給や人員積載のため経由した揚陸艦2隻^[92]がフィリピンに到着し、「ダマヤン作戦」の初期段階の交通インフラ整備などは一通り目処が付き、今後は生活、衛生面での支援に移行し、揚陸艦2隻を中心とした活動に移行できるとして、空母ジョージ・ワシントンを中心とした機動部隊はフィリピンの現地を離脱している^[93]。

イギリス

11月11日英国政府は人道的支援としてはイギリス海軍がシンガポールに寄港していた海水飲料水化装置を装備している駆逐艦D32デアリングを派遣し、イギリス空軍はC-17輸送機を派遣し、政府は1,000万ポンド(約16億円相当)の救援物資を送ることを表明。^[94]11月14日インドを訪問中のキャメロン首相は現在湾岸地域で作戦任務中のヘリ空母「イラストリアス」をフィリピンへ急行させ11月24日に展開させ、救援活動を行うよう命令し、現在2,300万ポンドの支援を行って更に増額する準備していて、先発して派遣した駆逐艦と輸送機は11月15日にもフィリピンへ到着し、活動を開始すると発言した。^[95]

ロシア

ロシア非常事態省の救援隊と医師団をフィリピンに派遣^[96]。



避難民を運ぶ海兵隊のHC-130輸送機
(11月17日)

ドイツ

救援組織を現地に派遣するとともに、毛布やテントなどの救援物資25トン^[97]を空輸。

台湾

2機のC-130を派遣して食料など支援物資を提供するとともに20万米ドル(約2,000万円)を寄付^[98]。

オーストラリア

約1,000万ドル(約9億9千万円)を拠出して防水シートや蚊帳などの物資を送るとともに災害対策の専門家4名を派遣^[79]。

欧州委員会

緊急支援として300万ユーロ(約4億円)を拠出^[99]。

韓国

韓国政府はフィリピンに対して500万米ドル(約5億円)の人道援助を決定。また被災地に緊急救助隊(KDRT)を派遣し、医療、救援活動を行うと発表^[100]。韓国には、独立以降、初となる外国出身の国会議員としてフィリピン生まれのイ・ジャスミンがセヌリ党に所属しており^[101]、フィリピン救援策を推進している^[102]。

中国

中国政府は義援金10万ドル(約990万円)の提供を約束し、中国赤十字社も10万ドルを提供すると発表した^[103]が、中国の国際的影響力のある立場にしては援助の規模が小さいと国内外からの批判が出ていて、批判する意見の中には領土問題の最大の対立国であるフィリピンに対する意趣返しの意味合いがあるという意見もあり、中国政府は国内のナショナリストの意見と国際的な圧力により判断を変えないか注目されている。^[103]当初、これらの批判に対し、中国共産党の新聞は「恩知らず」と非難したため、国際的な批判はますます高まった^[104]。その後、1,000万元(約1億6,000万円)相当の救援物資を提供すると表明。さらに16日になって「緊急援助医療隊」派遣を決定、フィリピン政府との条件が整い次第、被災地へ向かう予定^[105]。11月19日になって中国外務省は中国人民解放軍海軍の病院船「岱山島(和平方舟(Peace Ark))」(排水量約23,000t)の派遣決定を発表し、21日には浙江省舟山の軍港を出港、24日にレイテ島沖に到着予定。22日には中国メディアが更に病院船支援の名目で揚陸艦「崑崙山」(排水量約20,000t)を追加派遣予定と報道^[106]。

民間、団体、個人

日本では民間による義援金拠出の申し出が続出し、分かっているだけでもトヨタ自動車(2,300万円)、三菱商事(2,000万円)、住友商事、丸紅(1,500万円)、イオン、ブラザー工業(1,000万円)などでこれ以外にも日本航空は1,000万円の拠出と成田-マニラ間で公的機関による救援物資の輸送と一部の民間援助団体の渡航を無償で行うと発表し、利用客によるマイル寄付を募集すると発表。後日、全日本空輸も救援物資輸送と渡航の無償支援、マイル寄付募集を発表。セブン銀行も義援金の受付を発表するなど支援の流れが広がっている。また、海運業界は、海外で運行する船の船員のうち、75%がフィリピン人で占めるなどフィリピンとの関係が強いため、独自に船員家族の安否の確認を進めている。また商船三井は義援金300万円を拠出し^[107]、日本郵船、川崎汽船とともに無償の支援物資の輸送などの活動を進めている^[108]。

米国では、NBAとNBA選手会が10日に国連児童基金(UNICEF)を通して25万ドル(約2,500万円)を寄付し^[109]、翌11日にも同額25万ドル(約2,500万円)をキリスト教精神の基づいた慈善団体の「ワールド・ビジョン」を通じて寄付^[110]、ほかにマイアミ・ヒートのス波尔ストラ監督は13日、母親の出身であるフィリピンに援助を行うとUNICEFを通じて発表^[111]。NBAはフィリピンでエキシビションマッチを行うなど台風被災前から慈善活

動をしていて、フィリピン国内でもバスケットボールの人気が高いことから今回の支援に繋がったとみられる。また、NPO団体が独自に活動を開始、救世軍が災害対策チームが現地入りして被災者に食料や水、避難所などを提供しているほか、米国ユダヤ人共同配給委員会が、フィリピンや各国のユダヤ人社会と連携して救援物資を届ける活動を展開、また米国カトリック救援事業会も現地で生活必需品などの配布活動を展開するなどしている。

欧州ではエアバスがフィリピン航空へ納入予定だったエアバスA330-300型機を使用し、欧州内のNGOの救援物資を無償輸送した。

韓国でもキム・ヨナが、フィリピンの台風被災者に10万ドルをUNICEFを通して寄付した^[112]。

各国の通信業者の間では、義援金の他、フィリピン向けのSMSの送受信無料化や、送金手数料の無料化が進められている^[113]。

日本NGOでは、1994年からフィリピンで活動する*認定NPO法人 アジア日本相互交流センター・ICAN (<http://www.ican.or.jp/>)が、災害発生4日後より継続して救援物資の提供をおこなっており、日々現地から報告が出されている。

その他

ポーランドの首都ワルシャワで始まった国連気候変動枠組み条約第19回締約国会議(COP19)でフィリピン政府代表団のサノ交渉官が台風30号により親族が被災し、多くの被災者が数日間食料を入手出来ないことと温暖化による自然災害が増加は多くの関連性があり、この会議において何らかの温暖化に対する意義のある枠組み合意が出来るまでは自発的に断食するとハンガーストライキを約17分涙ながらに訴え、演説後、会場内はおよそ一分間スタンディング・オベーションが続いた。^[114]

脚注

- [^] ^{abc} “台風被災地で支援の輪広がる、募金呼びかけ フィリピン” (<http://www.cnn.co.jp/world/35039797.html>). CNN.co.jp. (2013年11月12日) 2013年11月12日閲覧。
- [^] “台風の番号と名前” (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/typhoon/1-5.html>). 気象庁 (2012年1月18日). 2013年11月6日閲覧。
- [^] ^{ab} “平成25年 台風第30号に関する情報” (<http://www.jma.go.jp/jp/typh/D20131104011321367.html>). 気象庁 (2013年11月4日). 2013年11月6日閲覧。
- [^] ^{abc} “台風201330号 (HAIYAN) - 総合情報(気圧・経路図)” (<http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/summary/wnp/s/201330.html>). デジタル台風. 2013年11月6日閲覧。
- [^] “台風30号が発生 19年ぶりの多さ” (http://www.tenki.jp/forecaster/diary/tenki_news_flash/2013/11/04/2891.html). 日本気象協会 (2013年11月4日). 2013年11月6日閲覧。
- [^] “台風30号 情報第21号” (<http://weather.excite.co.jp/typh/t-1330-21/>). エキサイト天気 (2013年11月6日). 2013年11月6日閲覧。
- [^] “Super Typhoon Haiyan a Serious Threat to the Philippines” (<http://www.accuweather.com/en/weather-news/tropics-take-aim-at-philippine/19561621>). AccuWeather.com (2013年11月5日). 2013年11月6日閲覧。
- [^] “PH braces for strong typhoon later this week” (<http://anc.yahoo.com/news/cagayan-still-under-state-of-calamity-over-typhoon--vinta--010423774.html>). Yahoo Philippines News (2013年11月5日). 2013年11月13日閲覧。
- [^] “Supertyphoon nears PH” (<http://newsinfo.inquirer.net/520917/potential-supertyphoon-threatens-ph-pagasa>). Inquirer News (2013年11月6日). 2013年11月6日閲覧。
- [^] “台風30号 情報第23号” (<http://weather.excite.co.jp/typh/t-1330-23/>). エキサイト天気 (2013年11月6日). 2013年11月8日閲覧。
- [^] “台風30号 情報第31号” (<http://weather.excite.co.jp/typh/t-1330-31/>). エキサイト天気 (2013年11月7日). 2013年11月8日閲覧。
- [^] 伊勢湾台風と較べて中心気圧は同一だが最大瞬間風速に関し、気象庁分析の物では10m下回るが米海軍分析の物では5kt上回る。
- [^] ^{ab} “史上最大規模の台風30号、フィリピンに上陸 3人死亡” (http://www.afpbb.com/articles/-/3002948?ctm_campaign=txt_AFPBB_NEWS) (2013年10月8日). 2013年11月8日閲覧。
- [^] “Super Typhoon HAIYAN (YOLANDA) Update Number 011” (<http://weather.com.ph/announcements/super-typhoon-haiyan-yolanda-update-number-011>). Weather.com.ph (2013年11月8日). 2013年11月8日閲覧。
- [^] “台風30号 情報第38号” (<http://weather.excite.co.jp/typh/t-1330-38/>). エキサイト台風 (2013年11月8日). 2013年11月9日閲覧。
- [^] “Super Typhoon HAIYAN (YOLANDA) Update Number 014” (<http://weather.com.ph/announcements/super-typhoon-haiyan-yolanda-update-number-014>). Weather.com.ph (2013年11月8日). 2013年11月8日閲覧。

- typhoon-haiyan-yolanda-update-number-014". Weather.com.ph (2013年11月9日). 2013年11月9日閲覧。
17. ^ “台風30号 情報第54号 (http://weather.excite.co.jp/typh/t-1330-54/)”. エキサイト台風 (2006年11月10日). 2013年11月10日閲覧。
18. ^ “Weakened Typhoon Haiyan hits Vietnam (http://www.aljazeera.com/news/asia-pacific/2013/11/typhoon-haiyan-bears-down-vietnam-201311111135204425.html)”. アルジャジーラ (2013年11月11日). 2013年11月11日閲覧。
19. ^ “ベトナムでは死者13人＝台風30号 (http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013111100526)”. 時事通信社 (2013年11月11日). 2013年11月11日閲覧。
20. ^ “Palau assesses damage after Super Typhoon Haiyan (http://www.abc.net.au/news/2013-11-07/an-super-typhoon-haiyan-hits-palau/5075198)”. Australia Network News (2013年11月8日). 2013年11月16日閲覧。
21. ^ “2013 Super Typhoon Haiyan (http://ocha.smugmug.com/Countries/Palau/2013-Super-Typhoon-Haiyan/33285947_xQhPT7#i=2889666505&k=WjCnH8P)”. 国際連合人道問題調整事務所. 2013年11月16日閲覧。
22. ^ a b “Palau Picks Up After Super Typhoon Haiyan Passes (http://www.pacificnewscenter.com/index.php?option=com_content&view=article&id=39427:palau-picks-up-after-super-typhoon-haiyan-passes&catid=45:guam-news&Itemid=156)”. Pacific News Center (2013年11月8日). 2013年11月16日閲覧。
23. ^ “Palau: Super Typhoon Haiyan (http://ocha.smugmug.com/Countries/Palau/Palau-Super-Typhoon-Haiyan/33314633_nXWcwp#i=2891919724&k=xV2qzWq)”. 国際連合人道問題調整事務所. 2013年11月16日閲覧。
24. ^ a b c “SitRep No.92 Effects of Typhoon “Yolanda” (Haiyan) (http://www.ndrrmc.gov.ph/attachments/article/1125/NDRRMC%20Update%20re%20SitRep%2092%20Effects%20of%20TY%20YOLANDA.pdf)”. フィリピン国家災害リスク削減委員会 (2014年1月14日). 2014年1月17日閲覧。
25. ^ [1] (http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/news/2013/TC1330/)
26. ^ フィリピン:「津波」なら逃げた言葉の壁、被害を拡大 (http://mainichi.jp/select/news/20131125k0000e030155000c.html)
27. ^ “台風30号、サマル島で300人死亡 推計死亡者1万人以上” (http://www.afpbb.com/articles/-/3003030). *AFPBB News*. (2013年11月10日) 2013年11月10日閲覧。
28. ^ “Official: Over 10,000 feared dead in Typhoon Haiyan (http://www.usatoday.com/story/news/world/2013/11/09/typhoon-haiyan-philippines-vietnam/3483099/)”. USA TODAY (2013年11月10日). 2013年11月10日閲覧。
29. ^ “「一刻も早く食料を」＝物資届かず、医師も不足－フィリピン・レイテ島 (http://www.jiji.com/jc/c?g=int&k=2013111201031)”. 時事ドットコム (2013年11月12日). 2013年11月14日閲覧。
30. ^ “レイテ島西岸の町 90%の建物全半壊 (http://www3.nhk.or.jp/news/html/20131113/k10013015731000.html)”. NHKニュース (2013年11月13日). 2013年11月14日閲覧。
31. ^ “死者1万人か＝被害が大幅拡大－フィリピン台風” (http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013111000046). *時事通信*. (2013年11月10日) 2013年11月10日閲覧。
32. ^ “5メートル高潮、街ごと破壊略奪はびこる レイテ島” (http://www.asahi.com/articles/TKY20131110404.html). *朝日新聞*. (2013年11月11日) 2013年11月12日閲覧。
33. ^ JOSEPHINE CUNETA; TE-PING CHEN (2013年11月11日). “フィリピンの台風、死者数千人規模か―商店の略奪も” (http://jp.wsj.com/article/SB100014240527023043686045791904620519004501020131115). *ウォール・ストリート・ジャーナル* 2013年11月12日閲覧。
34. ^ “【台風30号比直撃】死者は1774人に、1万人超の可能性も 大統領が国家非常事態宣言” (http://sankei.jp.msn.com/world/news/131112/asi13111200320000-n1.htm). *産経新聞*. (2013年11月11日) 2013年11月12日閲覧。
35. ^ “Tacloban airport opens (http://www.journal.com.ph/index.php/news/provincial/61613-tacloban-airport-opens)”. Journal Online (2013年11月12日). 2013年11月30日閲覧。
36. ^ “台風ヨランダ(30号)タクロバン空港には、国軍輸送機などでの被災地脱出を求める住民が殺到 (http://www.manila-shimbun.com/category/nature/news210220.html)”. まこら新聞 (2013年11月13日). 2013年11月30日閲覧。
37. ^ NHK国際部 Twitter2013年11月10日 - 11:48 (https://twitter.com/nhk_kokusai/status/399624575324942336)
38. ^ “州都に外出禁止令＝住民、食料求め略奪―各国は支援急ぐ・比台風 (http://www.jiji.com/jc/zc?k=201311/2013111200834)”. 時事ドットコム (2013年11月12日). 2013年11月14日閲覧。
39. ^ “【台風30号比直撃】脱走の受刑者45人拘束” (http://sankei.jp.msn.com/world/news/131117/asi13111722280009-n1.htm). *産経新聞*. (2013年11月17日) 2013年11月18日閲覧。
40. ^ “【台風30号比直撃】レイテ島、被災者の脱出が加速” (http://sankei.jp.msn.com/world/news/131117/asi13111700170000-n1.htm). *産経新聞*. (2013年11月17日) 2013年11月18日閲覧。
41. ^ “デッキで雑魚寝…レイテ島被災者、輸送艦で移送” (http://www.yomiuri.co.jp/world/news/20131118-OYT1T01058.htm). *読売新聞*. (2013年11月18日) 2013年11月19日閲覧。
42. ^ “【台風30号比直撃】「死者は2000～2500人」アキノ大統領が初めて言及” (http://sankei.jp.msn.com/world/news/131113/asi13111310040002-n1.htm). *産経新聞*. (2013年11月13日) 2013年11月15日閲覧。
43. ^ “フィリピン台風、13日時点の死者数は4460人＝国連” (http://jp.reuters.com/article/worldNews/20131115001020131115). *Reuters*. (2013年11月14日) 2013年11月15日閲覧。
44. ^ “国際支援が本格化＝国連と政府、違う死者数―比台風” (http://www.jiji.com/jc/c?g=soc_30&k=2013111500736). *時事通信*. (2013年11月15日) 2013年11月15日閲覧。
45. ^ “SitRep No.35 Effects of Typhoon “Yolanda” (Haiyan) (http://www.ndrrmc.gov.ph/attachments/article/1125/NDRRMC%20UP%20SitR

- (PDF)". フィリピン国家災害リスク削減委員会 (2013年11月22日). 2013年12月7日閲覧。
46. [^] *abc* "Vietnam reports 6 deaths as it poised to meet Typhoon Haiyan's landing (http://news.xinhuanet.com/english/world/2013-11/10/c_132875428.htm)". 新華社 (2013年11月10日). 2013年11月10日閲覧。
 47. [^] "China issues orange alert as Typhoon Haiyan hits coast (http://www.indianexpress.com/news/china-issues-orange-alert-as-typhoon-haiyan-hits-coast/1193143/)". IndianExpress (2013年11月10日). 2013年11月10日閲覧。
 48. [^] *ab* "台風30号、中国南部で6人死亡 (http://www.afpbb.com/articles/-/3003115)". AFPBB NEWS (2013年11月11日). 2013年11月12日閲覧。
 49. [^] "台湾でも台風30号の被害 養殖カキに約17億円規模の損害 (http://japan.cna.com.tw/news/asoc/201311120006.aspx)". フォーカス台湾 (2013年11月12日). 2013年11月12日閲覧。
 50. [^] アメリカ海兵隊、フィリピンへMV-22B4機を追加派遣 (http://flyteam.jp/airline/united-states-marine-corps/news/article/28841)
 51. [^] フィリピン救援 MV-22Bオスプレイ14機が活動中 (http://flyteam.jp/airline/united-states-marine-corps/news/article/29038)
 52. [^] 横田基地の米空軍36AS、フィリピンで24時間作戦を開始 (http://flyteam.jp/airline/united-states-marine-corps/news/article/29187)
 53. [^] 館山航空基地、SH-60Kをフィリピン国際緊急援助派遣部隊として派遣 (http://flyteam.jp/airline/japan-maritime-self-defense-force/news/article/29170)
 54. [^] フィリピン国際援助活動について 防衛省 (http://www.mod.go.jp/j/press/news/2013/11/15d.pdf)
 55. [^] イギリス空軍、フィリピンへC-17グローブマスターIIIを派遣 (http://flyteam.jp/aircraft/boeing/c17/news/article/29000)
 56. [^] 中国、比支援に揚陸艦も派遣 「けち」批判に反発? (http://sankei.jp.msn.com/world/news/131122/chn1311222350010-n1.htm)
 57. [^] カナダ空軍、フィリピンへCC-177とCC-150を派遣 (http://flyteam.jp/aircraft/boeing/c17/news/article/28998)
 58. [^] カナダ空軍、フィリピン救援活動にCH-146 3機を追加投入 (http://flyteam.jp/airline/canadian-armed-forces/news/article/29079)
 59. [^] オーストラリア空軍、C-17AとC-130Jをフィリピンへ派遣 (http://flyteam.jp/aircraft/lockheed_martin/c-130-lockheed_martin/news/article/28932)
 60. [^] "WFP Mounts Logistics Response For People Hit By Typhoon Haiyan (http://www.wfp.org/news/news-release/wfp-mounts-logistics-response-people-hit-typhoon-haiyan-0)". World Food Programme (2013年11月11日). 2013年11月12日閲覧。
 61. [^] "フィリピン中部における台風被害 (安倍総理大臣及び岸田外務大臣によるお見舞いメッセージの発出) (http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_000259.html)". 外務省 (2013年11月10日). 2013年11月12日閲覧。
 62. [^] "官房長官記者会見 - フィリピン中部における台風被害に対する支援について (http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/201311/11_a.html)". 首相官邸 (2013年11月11日). 2013年11月12日閲覧。
 63. [^] "フィリピン中部における台風被害に対する調査チームの派遣 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_000260.html)". 外務省 (2013年11月10日). 2013年11月12日閲覧。
 64. [^] "フィリピン台風被害 日本の国際緊急援助隊到着、活動本格化へ (http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/CONN00257674.html)". FNN ニュース (2013年11月12日). 2013年11月12日閲覧。
 65. [^] 台風30号被害に対する緊急無償資金協力の実施 外務省 フィリピン大使館 プレスリリース (http://www.ph.emb-japan.go.jp/pressandspeech/press/pressreleases/2013j/119.html)
 66. [^] 台風被災状況推定地図 タクロバン周辺全体 (http://www.cas.go.jp/jp/houdou/pdf/20131113chizu.pdf)
 67. [^] フィリピン中部における台風被害に対する緊急無償資金協力 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_000284.html)
 68. [^] "外務省、日本人安否確認に 参事官派遣 フィリピン台風" (http://www.asahi.com/articles/TKY201311150377.html). 朝日新聞. (2013年11月15日) 2013年11月19日閲覧。
 69. [^] "パラオにおける台風30号の被害に対する緊急援助 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_000287.html)". 外務省 (2013年11月15日). 2013年11月16日閲覧。
 70. [^] [2] (http://www.mod.go.jp/j/approach/kokusai_heiwa/philippines/pdf/20131112.pdf)
 71. [^] "フィリピンに自衛隊派遣へ 台風で国際緊急援助 防衛省" (http://www.asahi.com/articles/TKY201311120282.html). 朝日新聞. (2013年11月12日) 2013年11月12日閲覧。
 72. [^] フィリピンに自衛隊派遣、防衛相「千人規模を予定」 (http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK13025_T11C13A10)
 73. [^] フィリピン救援に海自最大艦「いせ」など3隻、1000人規模派遣 (http://www.iza.ne.jp/kiji/politics/news/131113/plk13111317550016-n1.html)
 74. [^] フィリピン共和国への国際緊急援助隊の派遣に係る自衛隊行動命令の発出について (http://www.mod.go.jp/j/press/news/2013/11/15d.html)
 75. [^] フィリピン国際緊急援助活動 (11月21日) 陸上自衛隊 (http://www.mod.go.jp/gsdf/news/pko/2013/20131121.html)
 76. [^] フィリピン共和国への国際緊急援助活動の終結について (http://www.mod.go.jp/j/press/news/2013/12/13b.html)
 77. [^] フィリピン国際緊急援助統合任務部隊の活動について (http://www.mod.go.jp/js/Press/press2013/press_pdf/p20131225_01.pdf)
 78. [^] [3] (http://bylines.news.yahoo.co.jp/obiek/20131113-00029753/)
 79. [^] *ab* "フィリピン、台風30号災害 各国が緊急援助 子ども400万人被災か (http://photo.sankei.jp.msn.com/kodawari/data/2013/11/11relief/)". MSN産経フォト (2013年11月11日). 2013年11月12日閲覧。
 80. [^] "台風30号 フィリピン在住の日本人133人のうち30人の安否確認 (http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/CONN00257703.html)". FNN ニュース (2013年11月12日). 2013年11月12日閲覧。
 81. [^] "日本で報じられないオスプレイの大活躍、普天間基地から14機がフィリピン救援に

- (<http://jbpres.ismedia.jp/articles/-/39216>)". 日本ビジネスプレス (2013年11月21日). 2013年11月23日閲覧。
82. ^ “米軍がフィリピンで救援活動支援へ、72時間以内に空母到着” (<http://jp.reuters.com/article/jpnewEnv/idJPTYE9AB00U20131112>)". ロイター (2013年11月12日). 2013年11月12日閲覧。
83. ^ 米軍、佐世保基地の揚陸艦2隻をフィリピンに増派へ「彼らは同盟国」 (<http://www.iza.ne.jp/kiji/world/news/131113/wor13111313440019-n1.html>)
84. ^ 台風30号比直撃 米、「3・11」並みの積極支援 原子力空母を派遣 (<http://www.iza.ne.jp/kiji/world/news/131113/wor13111316310026-n1.html>)
85. ^ “Special Report:Operation Damayan” (http://www.defense.gov/home/features/2013/1113_haiyan/)". アメリカ国防総省. 2013年11月18日閲覧。
86. ^ In Philippines, typhoon survivors desperate for food; aid workers say progress is slow (http://www.washingtonpost.com/world/asia_pacific/at-philipino-air-base-desperately-awaiting-a-chance-to-bring-supplies-to-hard-hit-areas/2013/11/12/059edb34-4b9e-11e3-be6b-d3d28122e6d4_story.html?tid=ts_carousel)
87. ^ 国際支援本格化も広範囲への支援課題 (<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20131113/k10013034682000.html>)
88. ^ アメリカ海兵隊、フィリピンへMV-22B4機を追加派遣 (<http://flyteam.jp/news/article/28841>)
89. ^ Harris Activates Hospital Ship to Support Philippines (<http://www.cpf.navy.mil/news.aspx/010195>)
90. ^ 空母ジョージ・ワシントンがレイテ湾に到着、固定翼艦載機は厚木へ帰還 (<http://flyteam.jp/news/article/28935>)
91. ^ 横田からも米空軍のC-130Hがフィリピン救援へ出発 (<http://flyteam.jp/news/article/28950>)
92. ^ 揚陸艦2隻、WB寄港 (<http://www.rimpeace.or.jp/jrp/okinawa/131116wb1.html>)
93. ^ 子供と女性の健康支援に重点取り組みーフィリピン台風 (<http://jp.wsj.com/article/SB100014240527023041528045792168976151836>)
94. ^ 台風被害の比に各国から支援の動き (<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20131112/k10015987011000.html>)
95. ^ British carrier HMS Illustrious to aid typhoon victims (<http://www.bbc.co.uk/news/uk-24940632>)
96. ^ “フィリピン 台風30号 この100年で最大の被害もたらす(ビデオ)” (http://japanese.ruvr.ru/2013_11_12/124287462/)". ロシアの声 (2013年11月12日). 2013年11月12日閲覧。
97. ^ “ルフトハンザ航空、台風の被害を受けたフィリピンに25トンの救援物資を輸送” (<http://response.jp/article/2013/11/12/210494.html>)". レスポンス (2013年11月12日). 2013年11月12日閲覧。
98. ^ “台湾がフィリピンに救援物資輸送 台風30号被害で” (<http://japan.cna.com.tw/news/apol/201311120002.aspx>)". フォークス台湾 (2013年11月12日). 2013年11月12日閲覧。
99. ^ “欧州委員会、フィリピンの台風被害者に対し緊急資金を拠出” (<http://www.euinjapan.jp/media/news/news2013/20131110/120052/>)". 駐日欧州連合委員会 (2013年11月10日). 2013年11月12日閲覧。
100. ^ “朴大統領、フィリピンに哀悼のメッセージ 緊急救助隊も派遣ー中国メディア” (<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20131113-00000006-xinhua-cn>). *XINHUA.JP* (Yahoo!ニュース). (2013年11月13日) 2013年11月16日閲覧。
101. ^ “人種差別的攻撃を受けたイ・ジャスミン氏、「傷ついたが韓国の包容力証明した」と毅然と示す” (<http://japanese.donga.com/srv/service.php3?biid=2012041851858>). *東亜日報* (2012年4月18日) 2013年11月16日閲覧。
102. ^ “「フィリピンを助けて」イ・ジャスミン議員、国会支援決議案を推進” (<http://japanese.donga.com/srv/service.php3?biid=20131114577118>). *東亜日報* (2013年11月14日) 2013年11月16日閲覧。
103. ^ [4] (http://newsbiz.yahoo.co.jp/detail?a=20131113-00000050-biz_reut-nb)
104. ^ “イケア1社より少ない中国のフィリピン支援額” (<http://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2013/11/post-3110.php>). ニューズウィーク. (2013年11月21日) 2013年11月22日閲覧。
105. ^ 中国「フィリピンに援助隊派遣したい」 (<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20131117/t10013116721000.html>)
106. ^ 中国、比支援に揚陸艦も派遣 「けち」批判に反発? (<http://sankei.jp.msn.com/world/news/131122/chn1311222350010-n1.htm>)
107. ^ 商船三井／フィリピン・レイテ島 台風被災者を支援 (<http://www.e-logit.com/loginews/2013:111123.php>)
108. ^ “海運各社 比の船員たちの安全確認急ぐ” (<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20131116/k10013108401000.html>). *NHK* (2013年11月16日) 2013年11月16日閲覧。
109. ^ NBAと選手会、台風30号の被害を受けたフィリピンに約2500万円を寄付 (<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20131111-00000311-ism-spo>)
110. ^ NBAと選手会、台風被害のフィリピンに2度目の寄付 (<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20131112-00000314-ism-spo>)
111. ^ ヒート監督がフィリピン援助NBA、選手会も義援金 (<http://www.sponichi.co.jp/sports/news/2013/11/14/kiji/K20131114007009070.html>)
112. ^ “キム・ヨナ、フィリピンの台風被災者に10万ドル寄付” (<http://japanesejoins.com/article/297/178297.html>). *中央日報* (2013年11月14日) 2013年11月16日閲覧。
113. ^ 佐藤仁 (2013年11月19日). “フィリピン:台風30号の被害に対する通信事業者の取り組み” (http://www.icr.co.jp/newsletter/global_perspective/2013/Gpre2013125.html). *InfoCom* ニューズレター (情報通信総合研究所) 2013年11月20日閲覧。

「<http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=平成25年台風第30号&oldid=50861750>」から取得
 カテゴリ: 平成時代の台風 | 2013年の災害 | フィリピンの歴史

- テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。